

69年キッシンジャー氏、大統領へメモ

pp07.10.8

米政府公文書を発見

一九七二年の沖縄返還で、米軍が有事の際に核を持ち込むことを認めた日米密約が締結されたことを示す米政府の公文書が七日までに見つかった。返還に合意した六九年十一月の日米首脳会談に向け、米大統領補佐官だったキッシンジャー氏が当時のニクソン大統領にあてたメモで、佐藤栄作首相との密約締結手順を記載している。(4面にメモ要旨)

沖縄返還時の核密約の存在を明示した交渉当事

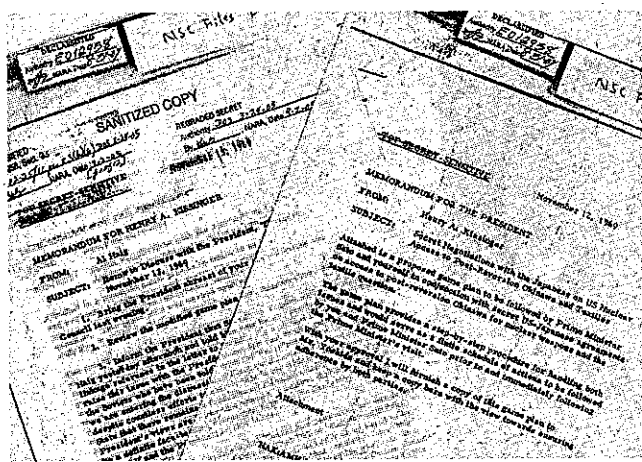


キッシンジャー氏

者の公文書発見は初めて。日本政府が依然否定している密約の存在を米公文書が裏付けた形だ。密約の文書そのものは公開されていない。文書は一九六九年十一月十二日付と十三日付のメモ。二〇〇五年に機密解除され

九四年、著作「他策ナカ意に至った」と述べているリシラ信セムト欲入」を。共同声明文をめぐる出版、佐藤首相の密使としてキッシンジャー氏を相手にした秘密交渉の一部始終を暴露した。キッシンジャー氏は十三日付のメモで、若泉氏が使っていた暗号名「ヨシダ」にも言及。「昨日午後、ヨシダ氏との最終的な協議で行動計画は合

沖縄核密約 存在示す



1969年に、米大統領補佐官だったキッシンジャー氏が当時のニクソン大統領にあてたメモ(右)

メモの内容が秘密合意に沿って両首脳が会談で行動するための「ゲームプラン」(行動計画)だとした上で、返還に伴う沖縄からの核兵器撤去に触れた共同声明文について交渉の進め方を進言している。また秘密合意が「覚書」の形で事前に文書化されていた点にも触れている。

沖縄返還時の核密約については、京都産業大教授の若泉敏氏(故人)が

【キッシンジャー大統領補佐官の一九六九年十一月十二日付大統領あてのメモ】

「核問題」

(1面参照)
表題「沖縄返還後の米国の核持ち込み及び組織問題に関する日本政府との秘密交渉」

要旨
ソクソク米大統領が、沖縄返還後、米国の核兵器持ち込みの秘密合意に同意するべきゲームプラン(行動計画)を添付する。あなたの同意が得られれば、行動計画の一通をヨシダ氏(若泉敏・京都産業大教授)故人に渡し一通を保管する。(中略)

合間の間、佐藤首相は第七章の草案一を提示する。

4 ニクソン大統領は日米安保条約の事前協議制度に特に言及する表現を希望し、第七章の草案三を提案する。

5 佐藤首相は草案三を受け入れる。

(以下墨塗り)

【補佐官の同月十三日付大統領あてのメモ】

修正された行動計画を添付。

昨日午後、ヨシダ氏との最終的な協議で行動計画は合意に至った。(以下略)

3 ニクソン大統領との話し

第七章の文言について直接ニクソン大統領と話すことを望む。

2 佐藤首相とその代理は、

あなたの同意が得られれば、

行動計画の一通をヨシダ氏(若泉敏・京都産業大教授)故人に渡し一通を保管する。(中略)

3 ニクソン大統領との話し